

有蓋須恵器坏

ゆうがいすえきつき

恵庭市指定文化財

所有者 恵庭市教育委員会

指定年月日 平成5年3月26日

所在地 恵庭市郷土資料館

年代 擦文時代(さつもんじだい)前期

<8世紀から9世紀>

土製

最大口径(蓋) 17.10 cm

高さ 10.80 cm

重さ 571.6g



昭和48年、島松川上流の島松沢3遺跡(旧名称 上島松遺跡)の農地改良に伴う発掘調査により発見された須恵器です。土坑墓(どこうぼ)の上部から出土していることから埋葬後に墓の上に置かれた供献土器(きょうけんどき・供えられた土器)と考えられます。

高台(こうだい)のついた椀形(わんがた)の坏(つき)とコマ形(こまがた)のつまみのつく蓋(ふた)の部分にわかれ、底面にはロクロの回転台から切り離す際の「ヘラ切り跡」が認められます。